

令和元年度 奈良先端科学技術大学院大学 同窓会総会

日 時：令和元年11月10日（日） 理事会終了後～

場 所：奈良先端科学技術大学院大学 事務局棟2階 大会議室

<総 会>

議 題

1. 会長挨拶
2. 前回総会の議事要旨確認 【資料1】
3. 審議事項
 - ・決算について 【資料2】
 - ・会計監査について 【資料3】
 - ・活動計画について 【資料4】
 - ・役員交代について 【資料5・6】
 - ・同窓会会則の改定について 【資料7】
4. 報告事項
 - ・活動報告について 【資料8・9】

配付資料

- ・平成30年度奈良先端科学技術大学院大学同窓会総会（第2回）議事要旨 【資料1】
- ・平成30年度収支報告書 【資料2】
- ・会計監査結果報告書 【資料3】
- ・同窓会の活動計画について 【資料4】
- ・次期役員（案） 【資料5】
- ・現役員 【資料6】
- ・奈良先端科学技術大学院大学同窓会会則（案） 【資料7】
- ・同窓会の活動報告 について 【資料8】
- ・奈良先端科学技術大学院大学同窓会について（経緯） 【資料9】

平成30年度奈良先端科学技術大学院大学 同窓会総会（第2回）議事要旨（案）

日 時 : 平成30年11月11日（日） 10時30分～11時45分
場 所 : 事務局棟2階 大会議室
出席者 : 清川 清 会長（情報・H10年度修了）
小林 未明 副会長（バ`イ・H10年度修了）
井上 明久 副会長（物質・H11年度修了）
神原 誠之 理事（情報・H13年度修了）
秋貞 盛人 理事（バ`イ・H12年度修了）
上岡 義弘 理事（物質・H25年度修了）
石河 泰明 監査（物質・H14年度修了）
垣内 喜代三 顧問（本学理事・副学長） 外18名
陪 席 : 松山教育支援課長、宮本教育支援課課長補佐

議 事 :

議事に先立ち、清川会長から、開会の挨拶が行われた。

（前回議事要旨の確認）

1. 前回理事会の議事要旨の確認

清川会長から、配付資料1に基づき、平成30年5月19日（土）に開催された同窓会総会（第1回）の議事要旨について確認が行われた。
引き続き、同窓会役員の自己紹介が行われた。

（審議事項）

1. 会計監査について

石河監査から、資料2に基づき、平成29年度の本会の会計監査結果について説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

2. 役員の交代について

清川会長から、資料3及び4に基づき、本会の役員の交代について説明があり、審議の結果、原案どおり神原理事の再任が承認された。

3. 同窓会活動の活性化について

清川会長から、資料5に基づき、同窓会活動の現状報告と理事会で検討を進めてきた活性化の方針について説明が行われ、種々意見交換の結果、同方針及び会則の改正趣旨についての基本了解が得られたことから、今後、今回の基本了解に基づく具体的な対応については、理事会に一任することが確認された。

〔事務局の設置〕

- ・同窓会として事務局を置くこと。

[情報発信の強化]

- ・ウェブサイトの充実を図ること（見やすく、編集しやすいもの、日英両言語併記）など。

[会員管理システムの導入]

- ・実績のある会員管理用の商用サービスを導入すること。

[同窓会組織の強化]

- ・入学時から同窓会会員となれるように会則を改正すること。
- ・教職員OB・OGも同窓会会員資格を有することが明確になるように会則を改正すること。
- ・会則上の会員資格の整理を検討すること。そのなかで、教職員OB・OGの取扱について整理を行うこと。
- ・同窓会名簿の整理のため、研究室に協力を仰ぐとともに、必要があれば商用サービスを用いて名簿の整理を進めること。

[その他の様々な活動支援の推進]

- ・会員が開催する同窓会集会への資金援助をすること。この場合、同集会には少なくともOB・OGが複数名含まれていることを条件とすること（そうしなければ、現役のみの集会となるため）。また、支援する集会に会員情報の更新を支援条件とすることも検討すること。
- ・同一年度内に、同一集会に支援が重ならないように支援条件を工夫すること。
- ・ホームカミングデーでの講師招へいを検討すること。

[会費徴収の徹底]

- ・永年会費（2万円）の徴収を再開すること。未納の修了生にも同窓会活動の活性化の趣旨を理解いただき、会費納入を呼び掛けていくこと。

以上

平成31年3月31日現在

平成30年度 奈良先端科学技術大学院大学同窓会 収支報告書

平成30年度収支報告（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

【1. 収入の部】

◆ 南都銀行口座 収入		36 円
(内訳)		
平成30年 8月20日 預金利息	18 円	
平成31年 2月18日 預金利息	18 円	
◆ ゆうちょ銀行口座 収入		3,160,000 円
平成30年度納入158名分	3,160,000 円	
◆ 前年度からの繰越金		6,956,572 円
(内訳)	※前年度収支報告書による	
南都銀行	(普通預金)	4,287,557 円
ゆうちょ銀行	(振替口座)	2,669,015 円
収入合計		10,116,608 円

【2. 支出の部】

◆ 南都銀行口座 支出		2,337,810 円
ホームカミングデー懇親会開催費用（平成30年11月11日開催）	21,962 円	21,962 円
第24回駅伝大会（吉川杯）表彰者に対する副賞（賞金）（平成30年11月6日開催）	13,000 円	13,000 円
第24回駅伝大会（吉川杯）表彰者に対する副賞（祝儀袋）（平成30年11月6日開催）	756 円	756 円
バイオ4期生 修士修了20周年同窓会開催の支援金	72,000 円	72,000 円
(上記振込手数料)	864 円	864 円
同窓会納入振込用紙作成費用	21,600 円	21,600 円
(上記振込手数料)	108 円	108 円
ホームページ改修費用	2,205,900 円	2,205,900 円
(上記振込手数料)	540 円	540 円
南都銀行webバンキング手数料（3月分）	1,080 円	1,080 円
◆ ゆうちょ銀行口座支出		19,454 円
ゆうちょ銀行残高照会費用(H29年度残高証明分)	514 円	514 円
会費納入振込手数料（158名分）	18,940 円	18,940 円
支出合計		2,357,264 円

【3. 現在金額】（平成31年3月31日現在）

収入（ 10,116,608 円）	－ 支出（ 2,357,264 円）	7,759,344 円
(内訳)		
南都銀行口座残高	1,949,783 円	
ゆうちょ銀行口座残高	5,809,561 円	

令和元年 11 月 1 日

会計監査結果報告書

奈良先端科学技術大学院大学同窓会 監査
奈良先端科学技術大学院大学
物質創成科学領域 准教授 石河 泰明



下記のとおり会計監査を実施したので報告する。

記

日 時： 令和元年 11 月 1 日（金） 15：30～16：30

場 所： 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学領域 石河准教授室

対 象： 会計報告（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

結 果： 監査の結果、前回、平成 30 年 11 月 11 日開催の同窓会総会で行われた、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの監査結果報告後、平成 31 年 3 月 31 日までに発生した金銭の授受・引き出しは、以下（1）～（10）のとおりである。

- （1）平成 30 年 11 月 11 日に開催されたホームカミングデー懇親会開催の費用（21,962 円）の支出。
- （2）平成 30 年 11 月 6 日に開催された第 24 回駅伝大会（吉川杯）表彰者に対する副賞の費用（13,756 円）の支出。
- （3）平成 30 年 11 月 10 日に開催されたバイオ 4 期生修士修了 20 周年同窓会の開催支援金（72,864 円）の支出
- （4）同窓会会費振込用紙作成料（21,708 円）の支出
- （5）ホームページ改修費用（2,206,440 円）の支出

(6) 南都銀行 web バンキング手数料 (1,080 円) の支出

(7) ゆうちょ銀行残高照会費用 (514 円) の支出

(8) 会費納入振込手数料 (18,940 円) の支出

(9) 同窓会口座預金利息 (南都銀行分 36 円) の収入。

(10) 同窓会費 (3,160,000 円) の収入

※ 帳簿・領収書と収支報告書の金額は一致していることから、監査完了とした。

令和元年 1 1 月 奈良先端科学技術大学院大学 同窓会総会資料

審議事項

文責 会長 清川 清（情報 H6 年博士前期課程入学）

■1. 令和 2 年度予算案について

- ・当該年度の支出額は前年度の会費収入から決定する。
- ・年度末までに令和元年度新入生の加入率 60%以上を目指す。

収入の部

	単価	員数	加入率	計	加入率	計	加入率	計
終身会費(修士からの入学者)	20000	329	0.4	2632000	0.6	3948000	0.8	5264000
終身会費(博士からの入学者)	20000	30	0.4	240000	0.6	360000	0.8	480000
寄付	10000	10		100000		100000		100000
合計				2972000		4408000		5844000

支出の部

	単価	員数	計	員数	計	員数	計
会員管理システム PalSyne 利用料	24300	12	291600	12	291600	12	291600
会員管理システム PalSyne 改修費	500000	1	500000	1	500000	1	500000
事務員雇用費 (2000 円 x 8 時 / 日)	16000	52	832000	78	1248000	104	1664000
ウェブ維持管理費	20000	12	240000	24	480000	36	720000
同窓会主催イベント飲食費	150000	1	150000	1	150000	1	150000
同窓会主催イベント講師招聘費・謝金	50000	1	50000	2	100000	3	150000
同窓会開催支援費	50000	10	500000	20	1000000	30	1500000
その他(オンラインバンキング利用料, 振込手数料など)	30000	1	30000	1	30000	1	30000
予備費(和文英訳, 積立てなど)	190280	1	378400	1	608400	1	838400
合計			2972000		4408000		5844000

■2. 会員増強の施策について

- ・在校生の入会
 - メールでのお願い
 - トップダウンでのお願い
- ・修了生の入会
 - メールでのお願い
 - 研究室を通じたお願い
 - ハガキ・電話などでのお願い
- ・魅力的なサービスの増強

■3. 事務局職員の雇用について

- ・社労士との打合せ, 業務内容・雇用開始時期の検討など

- 雇用保険（20 時間/週以上働き、31 日以上継続して雇用される見込がある場合）は不要
- 労災保険は必要
- 費用の例：労災保険加入手続き（1.5 万円）、雇用契約書作成費用（1 万円）、スポット 1 案件（3 千円～）

■4. その他

以上

次期役員（案）

	氏 名	所属・入学年度	任期区分
会長	きよかわ きよし 清川 清	情報 H6年度入学	任期中
副会長	こばやし みめ 小林 未明	バイオ H6年度入学	任期中
	いのうえ あきひさ 井上 明久	物質 H10年度入学	任期中
理事	かんばら まさゆき 神原 誠之	情報 H9年度入学	任期中
	あきさだ もりと 秋貞 盛人	バイオ H11年度入学	任期中
	うえおか よしひろ 上岡 義弘	物質 H21年度入学	任期中
	おかむら かつとも 岡村 勝友	バイオ H10年度入学	新任
監査	いしかわ やすあき 石河 泰明	物質 H10年度入学	再任
	らうら がいこびな くら Raula Gaikovina Kula	情報 H20年度入学	任期中
顧問	かきうち きよみ 垣内 喜代三	本学理事・副学長	再任
	こまい しょうじ 駒井 章治	バイオ H7年度入学	任期中

奈良先端科学技術大学院大学同窓会会則 <抜粋>

2018年11月11日改定

第4章 役員及び職員

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1)会長 1名
- (2)副会長 2名
- (3)理事 若干名
- (4)監査 2名
- (5)顧問 若干名

第6条 役員は次により選出する。

- (1)会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (2)副会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (3)理事 会長及び副会長が推薦し、総会で承認された者
- (4)監査 会長が推薦し、理事会で承認された者
- (5)顧問 理事が推薦し、会長が承認した者

2 会長及び副会長は、理事を兼ねる。

第7条 会長、副会長、理事、監査及び顧問の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員に欠員を生じた場合には、理事会において選出し、その任期は残存期間とする。

第8条 会長は、本会を代表し会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長のうちの1人がその職務を代理する。

3 理事は、会務を処理する。

4 監査は、会務を監査する。

5 顧問は、会の運営について、会長、副会長及び理事の相談に応じ、また助言を行うことができる。

現役員

	氏 名	所属・入学年度
会長	きよかわ きよし 清川 清	情報 H6年度入学
副会長	こばやし みめ 小林 未明	バイオ H6年度入学
	いのうえ あきひさ 井上 明久	物質 H10年度入学
理事	かんばら まさゆき 神原 誠之	情報 H9年度入学
	あきさだ もりと 秋貞 盛人	バイオ H11年度入学
	うえおか よしひろ 上岡 義弘	物質 H21年度入学
監査	いしかわ やすあき 石河 泰明	物質 H10年度入学
	らうら がいこびな くら Raula Gaikovina Kula	情報 H20年度入学
顧問	かきうち きよみ 垣内 喜代三	本学理事・副学長
	こまい しょうじ 駒井 章治	バイオ H7年度入学

奈良先端科学技術大学院大学同窓会会則 <抜粋>

2018年11月11日改定

第4章 役員及び職員

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1)会長 1名
- (2)副会長 2名
- (3)理事 若干名
- (4)監査 2名
- (5)顧問 若干名

第6条 役員は次により選出する。

- (1)会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (2)副会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (3)理事 会長及び副会長が推薦し、総会で承認された者
- (4)監査 会長が推薦し、理事会で承認された者
- (5)顧問 理事が推薦し、会長が承認した者

2 会長及び副会長は、理事を兼ねる。

第7条 会長、副会長、理事、監査及び顧問の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員に欠員を生じた場合には、理事会において選出し、その任期は残存期間とする。

第8条 会長は、本会を代表し会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長のうちの1人がその職務を代理する。

3 理事は、会務を処理する。

4 監査は、会務を監査する。

5 顧問は、会の運営について、会長、副会長及び理事の相談に応じ、また助言を行うことができる。

奈良先端科学技術大学院大学同窓会会則

20182019 年 11 月 11 日改定

第 1 章 総 則

第 1 条 本会は、奈良先端科学技術大学院大学同窓会と称し、本部を奈良先端科学技術大学院大学内に置く。

第 2 章 目的及び事業

第 2 条 本会は、会員相互の親睦を図り、併せて奈良先端科学技術大学院大学（以下、大学という。）建学の目的及び使命の達成に寄与することを目的とする。

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦
- (2) 大学の教育・研究活動の支援
- (3) 会員名簿の管理及び会誌の発行
- (4) その他本会の目的の達成に必要な事業

第 3 章 会 員

第 4 条 本会の会員は、次に掲げる正会員、特別会員、及び賛助会員、及び準会員とする。

(1) 正会員

奈良先端科学技術大学院大学を修了した者、または奈良先端科学技術大学院大学に在籍中または在籍したことがあり入会の届け出をし、理事会で承認された者

(2) 特別会員

大学の教職員（退職者を含む。）及び正会員の推薦により理事会で承認された者

(3) 賛助会員

本会の目的に賛成し、本会に対し多大の援助をした法人又は個人で、正会員の推薦により理事会で承認された者

(4) 準会員

奈良先端科学技術大学院大学を修了、在籍中または在籍したことがあり、同窓会会員ネットワークシステムへの登録を行った者

第 4 章 役員及び職員

第 5 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名
- (2) 副会長 2 名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監査 2 名
- (5) 顧問 若干名

第 6 条 役員は次により選出する。

- (1) 会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (2) 副会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (3) 理事 会長及び副会長が推薦し、総会で承認された者
- (4) 監査 会長が推薦し、理事会で承認された者
- (5) 顧問 理事が推薦し、会長が承認した者

2 会長及び副会長は、理事を兼ねる。

第 7 条 会長、副会長、理事、監査及び顧問の任期は 2 年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員に欠員を生じた場合には、理事会において選出し、その任期は残存期間とする。

第8条 会長は、本会を代表し会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長のうちの1人がその職務を代理する。

3 理事は、会務を処理する。

4 監査は、会務を監査する。

5 顧問は、会の運営について、会長、副会長及び理事の相談に応じ、また助言を行うことができる。

第5章 会 議

第9条 本会の会議は総会及び理事会とする。

第10条 総会は、全正会員で構成し、会長が必要と認めたとき、会長が招集する。

2 総会は、2週間前までに議案、日時、場所を公示し、会長が招集する。

3 総会は、必要に応じて電子会議で開くことができる。

4 総会は、次の事項について決議する。

(1) 予算の決定及び決算の承認

(2) 会の運営方針及び会則の制定改廃

(3) 会長、副会長及び理事の選出

(4) その他

5 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決する。可否同数のときは議長がこれを決する。

第11条 理事会は、会長、副会長、理事で構成し、本会の予算、決算、及びその他本会の運営に関する重要事項を審議する。また本会の運営に関して企画、立案し及びその業務を執行する。

2 監査及び顧問は、会長が意見・助言を求める必要がある場合は、参加することができる。

第12条 理事会は、それぞれの構成員からの要請により会長が必要と認めるとき、随時開催することができる。

2 理事会は、過半数の出席を必要とし、出席できないときは、委任状により議決を委任することができる。

第6章 経 費

第13条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

第7章 会 計

第14条 会費は、永年会費として2万円とする。

第15条 会費は、原則として奈良先端科学技術大学院大学入学時に納入するものとする。

第16条 納入した会費は、原則として返還しない。

第17条 寄付金は、理事会の承認により受領することができる。

第18条 本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

第19条 本会の会計の決算は、毎年度監査を受けた後、総会の承認を得なければならない。

第8章 改 廃

第20条 会則の改廃は、総会において、出席正会員の3分の2以上の賛成を必要とする。

附 則

この会則は、平成22年11月13日から施行する。

附 則

この会則は、平成30年11月11日から施行する。

附 則

この会則は、令和元年11月10日から施行する。

報告事項

文責 会長 清川 清 (情報 H6 博士前期課程入学)

■1. PalSyne の導入

ワンネットシステム (株) の同窓会会員管理に特化したクラウドソリューション (<https://palsyne.com/>) を 2019 年 2 月に導入しています。2019 年 11 月 4 日現在、358 名に登録いただいています。

- ・新規会員登録ページ

<https://apply.palsyne.net/u-naist/register.aspx>

- ・PalSyne ログインページ

<https://pu.palsyne.net/u-naist/>

■2. 同窓会活動の周知・同窓会入会案内の配布

平成 31 年度新入生 (春入学・秋入学) に対して、入会案内 (別紙 1 参照)・振込用紙を送付しました。また、以下の機会において、同窓会の活動を案内し入会を呼びかけました。

- ・平成 30 年度学位記授与式 (2019 年 3 月 22 日)
- ・新入生 (博士前期課程) オリエンテーション (2019 年 4 月 2 日) (スライドは別紙 2 参照)
- ・新入生 (博士後期課程) オリエンテーション (2019 年 4 月 4 日) (スライドは別紙 2 参照)

■3. 新入生の同窓会会費の納付状況

- ・平成 31 年度新入生 (春入学) の会費納付率は 11 月 4 日現在で、約 40%です。

一日本人・博士前期課程の約半数が納付済みであるが、留学生や博士後期課程学生の納付率が低い。

新入生	学生区分	学生数	納付者	納付率
日本人	M	309	161	52%
	D	45	0	0%
留学生	M	20	4	20%
	D	18	1	6%
計		392	166	42%

■4. 同窓会開催支援

昨年度より新たに開始した同窓会開催支援について、これまで 4 件の支援を行いました。

- ・2018.11.10 (バイオ) バイオ 4 期生 修士修了 20 周年記念パーティ (72,000 円)
- ・2019.04.27 (情報) 萩田紀博先生退官記念同窓会 (36,000 円)
- ・2019.05.18 (バイオ) 安田國雄名誉教授を囲んだ同窓会 (20,000 円) (手違いにより未払い、速やかに支援予定)
- ・2019.06.15 (物質) 物質創成科学研究科創立 22 周年記念パーティー (32,000 円)

(以下参考)

支援条件:

- ・10 名以上が参加する会であること

- ・公序良俗に反しない会であること
- ・参加者に対して NAIST 同窓会からの援助があることを周知すること
- ・会の終了後 1 週間以内に 1) 名簿（氏名・修了年）、2) 300 字程度の報告および 3) 集合写真 1 枚(JPG 等の電子ファイル)を提出すること。

支援金額：

- ・参加会員 1 名につき 2,000 円、総額で 100,000 円を上限とする。
- ・応募者多数の場合など、希望に添えない場合がある。

===== 応募様式 =====

代表者氏名・修了年・出身研究科（領域）：

開催予定日時：

開催内容：

支援希望額・使途：

参加予定者氏名・修了年・出身研究科（領域）：

=====

■5. キャリア支援係との連携

- ・就職先情報の共有
 - 6 月修了生分から収集時に同窓会での利用も明記することにいたしました。
- ・各種イベントの共催
 - 第 1 回 NAIST 同窓生講演会～博士 OB・OG から学ぶキャリアデザイン～（2019.09.06）を共催いたしました(内容詳細は別紙 3 参照)。講師として、情報 OB 五十嵐康伸氏(パーソルキャリア株式会社/E2D3.org) 氏、バイオ OB 石田喬志氏（熊本大学）、物質 OB 浦川哲氏（株式会社 SCREEN ホールディングス）の 3 名をお呼びしました。

■6. ホームページの改修

同窓会ホームページを改修することとし、(株) エクザム (<https://www.ekzm.co.jp/>) に発注いたしました。
新規 URL: <http://alumni.naist.jp> にて 2020 年 2 月中の公開を予定しております(デザイン案は別紙 4 参照)。

■7. 海外支部との連携

2019 年 4 月 12 日にインドネシア NAIST 同窓会との会合に参加し、交流を深めました。

参加者：

インドネシア NAIST 同窓会会長 Prof. Dr. Edy Meiyanto 氏、顧問 Prof. Dr. Maksum Radji 氏、本学垣内理事、川市教授、清川ら約 10 名

・ 13:30-13:40

自己紹介、垣内理事からの大学の近況説明

・ 13:40-13:50

清川からの NAIST 同窓会の近況説明

・ 13:50-14:00

質疑。

—すでに同窓会会員だと思うが再登録の必要があるのか？

＞ある。新システムなので、まだの場合はまず NAIST ネットへの登録が必要。

—会員用ウェブサイトでは何ができるのか？

＞会員検索やメール送信などが可能。いずれ同窓会ウェブなどと統合したい。

ー英語ページはないのか？

＞準備中。

・ 14:00-14:10

インドネシア同窓会の紹介

<https://naist-inaa.org/>（非常によくできています）

ー2017年設立、約70名が活動

主な活動

ーA. NAIST prescreening / degree and student exchange

ーB. Research collaboration

ーC. Academic support / seminar

・ 14:10-14:30

質疑。

ーNAIST 同窓会にはロゴはないのか？（インドネシア NAIST 同窓会にはある。HP 参照）

＞まだない。作るときはインドネシア NAIST 同窓会のものも参考にする。

ー同窓生が利用できるソフトウェアライセンスなどはないのか？

＞聞いたことがないが、調査する価値はある。

ー集会参加費の支援よりも、共同研究や旅費のサポートのほうが嬉しい。

＞何ができるか検討する。

・ 14:30-15:00

休憩・歓談

・ 15:00-15:30

明日の予定確認（京都などで別イベントがあるようです）

記念写真撮影

・ 15:30

終了

■8. OB 懇親会の開催

・ 令和元年度 NAIST OB 懇親パーティー（詳細は別紙 5 参照）

開催日 2019 年 12 月 7 日(土) 時間:受付 18:00, 開宴 18:30, 終了 20:30

場所:〒600-8009 京都市下京区四条室町東入 京都経済センター7 階京都商工会議所貸会議室 7A/7B 室

以上



2019 年 1 月吉日

奈良先端科学技術大学院大学同窓会
会長 清川 清

奈良先端科学技術大学院大学同窓会 入会のご案内

新入生の皆様、奈良先端科学技術大学院大学への御入学おめでとうございます。これから出会う多くの先生方、先輩、後輩、ご友人と過ごす時間は一生の宝物です。勉学や研究を通して、本学の学生生活が皆様の人生の素晴らしい糧となることを祈念いたします。

奈良先端科学技術大学院大学では修了生が同窓会を組織しており、在学生、修了生を支援しています。現在、本学にはすべての研究領域を合わせて約 8000 名の修了生がおり、国内外の大学、研究機関、大企業等で活躍しています。本学同窓会では、修了生相互の人的ネットワークの構築を図り、在学生と修了生との親睦を深める様々な支援事業を企画しています（別紙をご参照下さい）。

同窓会正会員には、各種特典がございます（別紙をご参照ください）。本学同窓会では入会に際して永年会費 2 万円を頂戴しており、修了生になられた後も追加費用は一生必要ありません。本学御入学と同時に、同窓会に御入会いただきますようお願いいたします。

皆様が社会に出た後に、本学で学んだことに誇りを感じたり、本学との繋がりを実感したりする機会が多々あることと思います。また、そうした有り難みは年を経るごとに強まっていくことでしょう。ぜひ奈良先端科学技術大学院大学同窓会に御入会いただき、その繋がりを最大限にご活用ください。

最後になりましたが、改めまして、ご入学おめでとうございます。どうぞ充実した学生生活を御送り下さい。皆様の今後の御活躍と御健勝をお祈り申し上げます。

敬具

清川 清

奈良先端科学技術大学院大学同窓会 入会のご案内（別紙）

◎ 会費について

- ・入会に際して永年会費 2 万円を頂戴しています。その後の追加費用は一生必要ありません。
- ・入金下記口座に行ってください。
※通信欄に必ず、1) 氏名、2) 入学年、をご記入ください（例：キヨカワキヨシ 1994）

— ゆうちょ銀行・振替口座（同封の払込票をご利用いただけます）

口座番号：00960-4-158330

口座名義：奈良先端科学技術大学院大学同窓会

— 南都銀行

登美が丘支店・普通口座

口座番号：0278442

口座名義：奈良先端科学技術大学院大学同窓会代表清川清

◎ 同窓会の支援事業について

- ・同窓会ホームページやメーリングリストにて各種案内や告知を発信しています。
- ・ホームカミングデーなどの在学生・修了生の交流イベントを企画しています。
- ・活躍する修了者による講演会を企画しています。
- ・在学生向けの就職支援事業などを企画しています。
- ・優秀修了者を表彰するなど、各種表彰を行っています。
- ・会員が企画する同窓会集会に対して開催支援金を支給しています。

◎ 正会員の特典について

- ・在学生向けの就職支援事業などにおいて優遇される場合があります。
- ・各種表彰の選考対象となります。
- ・同窓会集会開催支援金の支給対象となります。
- ・同窓会システムで、修了生（企業に就職したOB・OG等）を検索できます。
- ・同窓会ホームページやメーリングリストにて各種案内や告知を発信できます。

以上



January 2019

Nara Institute of Science and Technology Alumni Association
Chairperson: Kiyoshi Kiyokawa

Nara Institute of Science and Technology Alumni Association Membership Invitation

To all new students, I extend my congratulations on your admission to the Nara Institute of Science and Technology. The time you are going to share with the faculty, seniors, juniors and new friends at NAIST is invaluable experience that will last a lifetime. Through your studies, research, and other activities, we hope that student life provides nourishment for a healthy and prosperous future ahead.

The Alumni Association is organized by former students of the Nara Institute of Science and Technology with the goal to support graduates and current students of NAIST. There are more than eight thousand graduates with various research backgrounds. They are active in both domestic and overseas universities, research institutes, private companies and others. The Association supports various projects that help networking of students and build relationship between students and graduates (please refer to the attachment).

We would like to extend an invitation to all students to join the Alumni Association. With a one-time lifetime membership fee of 20 thousand yen at time of enrollment, no additional expenses are required even after graduation. We offer various benefits for our regular members (see the attachment).

You will realize how important what you have learned and experienced at schools will be once you have graduated from NAIST. There will definitely be more occasions that you will feel proud of having studied at NAIST. Being part of the Alumni Association will give you more opportunities to realize importance of the relationship with NAIST and people involved there. These feelings will only strengthen with time, so we encourage you to take advantage of this opportunity to make full use of the membership to build connections with NAIST community.

Last but not least, again we congratulate you on your admission. We are sure you will enjoy a fulfilling student life at NAIST. We wish your continued success and prosperous future.

Warmest regards

清川 清

Nara Institute of Science and Technology Alumni Association Membership Information (Attachment)

◎ Membership Information

- A one-time membership fee of 20 thousand Japanese yen. Subsequent additional costs will not be added.
- Please use the following account for deposit:
※Required Information to be included: 1) Full Name and 2) NAIST entrance year.

—Japan Post Bank (ゆうちょ銀行)・Transfer account (enclosed payment slip can be used)

Account Number: 00960-4-158330

Account Name: 奈良先端科学技術大学院大学同窓会
(Narasentankagakugijutsudaigakuindaigaku dosokai)

—Nanto Bank (南都銀行)

Gakken Nara-Tomigaoka Branch (登美が丘支店)・Savings Account (普通口座)

Account Number: 0278442

Account Name: 奈良先端科学技術大学院大学同窓会代表清川清
(Narasentankagakugijutsudaigakuindaigaku dosokai daihyo Kiyokawa Kiyoshi)

※Use your name and entrance year (ex. NameFamily2019) as a payer:

◎ Activity of the Alumni Association

- ・ Maintain association website and mailing list for important announcements and guidance.
- ・ Host networking events for students and graduates such as Homecoming Day.
- ・ Invite and host lectures by active graduates.
- ・ Create employment support projects for students.
- ・ Recognize distinguished members, such as honoring outstanding graduates.
- ・ Management of reunion support funds for members.

◎ Benefits of Regular Members

- ・ Members will be given priority for the employment support project.
- ・ Members are entitled to receive various awards from the Association.
- ・ Members are eligible for the support of alumni gatherings.
- ・ Members can post invitations and announcements via the association website and mailing list.

奈良先端科学技術大学院大学同窓会について（経緯）

経 緯

- 平成 7 年 2 月 第1期生の修了を控え、修了生と大学、また修了生相互の連携を図るため、大学主導で同窓会設立に向けた検討開始
- 平成12年 3 月 同窓会を設立（学生課が事務支援）
城和貴氏（現・奈良女子大学教授）を会長とし、評議員等の役員24名を選出
- 平成13年 9 月 同窓会運営を同窓会役員に移行
- 平成16年 4 月 国立大学法人化
中期計画において、同窓会支援体制整備を明記
- 平成19年 4 月 城同窓会会長及び学内に在籍する修了生3名を中心に、同窓会の再構築に向けて検討を開始（学生課が事務支援）
- 平成20年 3 月 設立からの収支報告書を作成し、監査を実施
- 平成21年10月 学内に在籍する修了生6名を中心に、W. Gを設置し、現会長及び評議員の了承を得て、組織の見直しを検討（学生課が事務支援）
- 平成22年 4 月 第2期中期計画において、修了生とのネットワークの充実を明記
- 平成22年 7 月 学内に在籍する修了生3名が、新たなW. G委員として加わる。
- 平成22年11月 同窓会総会及び同窓会パーティーを開催
- 平成23年10月 同窓会総会及び同窓会パーティーを開催
- 平成24年11月 同窓会総会及び同窓会パーティーを開催
修了生の高橋 和利さんに対し、同窓会栄誉賞を表彰
- 平成25年10月 同窓会総会及び東京リユニオン（同窓会パーティー）を開催
- 平成26年12月 同窓会総会を開催
- 平成27年11月 同窓会総会を開催
- 平成28年11月 ホームカミングデーを開催
- 平成29年11月 ホームカミングデーを開催
- 平成30年 2 月 同窓会理事会を開催
- 平成30年 5 月 同窓会理事会・総会を開催
- 平成30年 8 月 同窓会理事会を開催
- 平成30年11月 同窓会総会及びホームカミングデーを開催
- 令和元年 5 月 同窓会理事会を開催